

# 川西町における職員情報 リテラシー向上の取り組み

川西町役場 総務課

行政管理専門員 兼 D X 推進主査 奥村大祐

# 本町の電算化の変遷

## 【基幹系システム】

置賜広域行政事務組合\_共同電算処理

- ⇒ H 5 独自汎用システム処理方式  
(単独・HOST)
- ⇒ H 2 0 置賜地域電算システム共同アウトソーシング  
(共同・クラウド・データセンター)

## 【職員デスクトップ環境】

- H 1 3 職員 1 人 1 台パソコンの配備・NW化
- ⇒ H 2 0 仮想デスクトップ (Citrix Xenapp)
- ⇒ R 3 " (Windows RDP)

# 電算担当の役割の変化 = 考えの転換

各種取り組みは、電算担当の主導により展開

「 ~R3 庁内電算処理環境の管理 」

考えの  
転換

「 R4 自治体DXの推進 」

DX : デジタルを用いた新たな価値の創造

⇒ 職員主体によるDXの推進

なにを? どう進めればいいのか?

川西町自治体DXアクションプラン(案)  
の策定  
※自治体DX推進の  
実行計画

# 川西町自治体DXアクションプランの概要

## 1 目指す姿

デジタル（テクノロジー）を用いて、行政サービスを向上させる。

## 2 推進する視点

視点1： 住民サービス・利便性向上

視点2： 職員の就業環境の改善 = 業務効率化

視点3： 効果に見合った費用

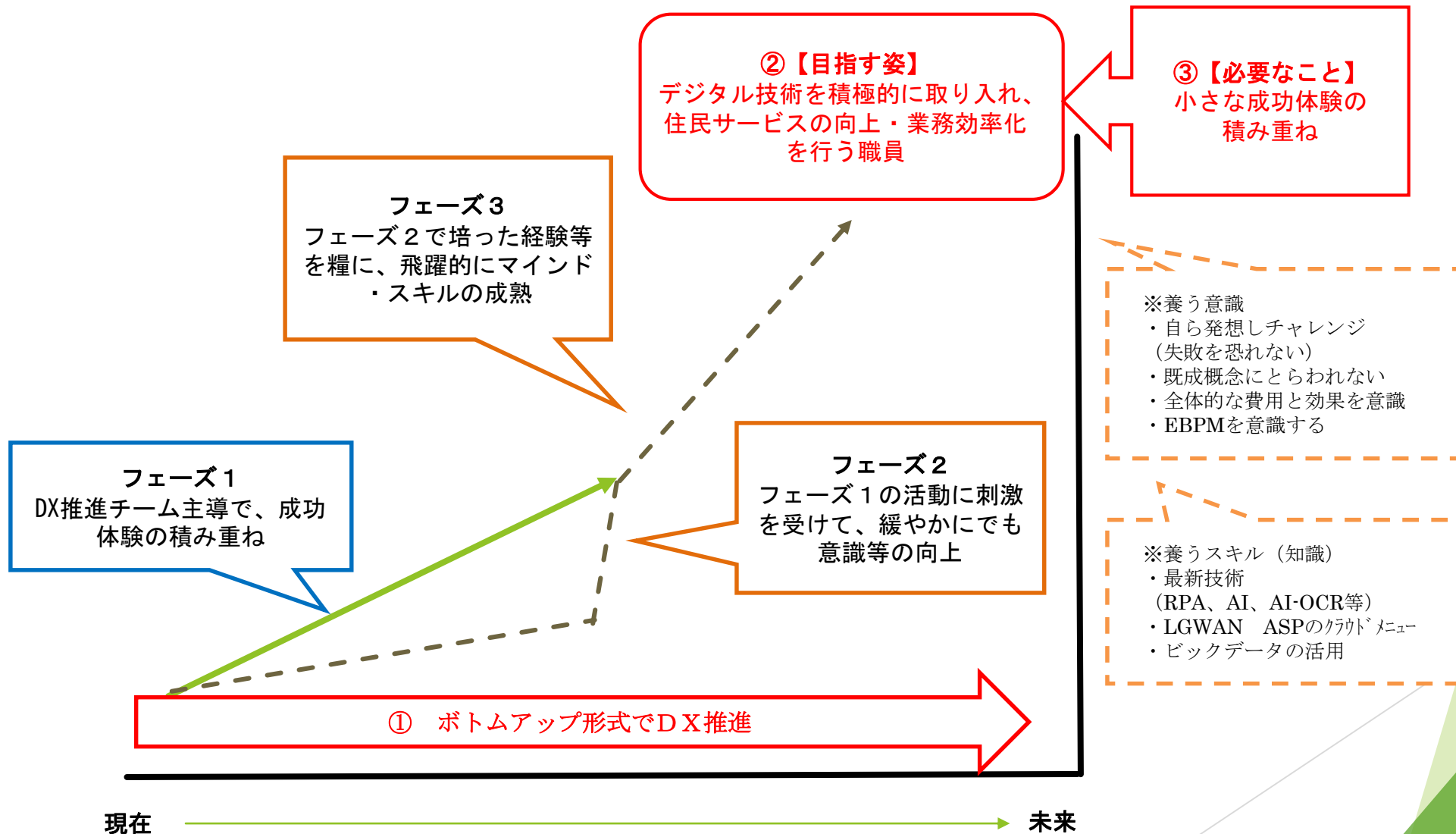
視点4： EBP Mにつながるデータの蓄積・分析

視点5： **DXを支える人材の育成**

DXの目的を理解し、ツールを使いこなす職員群をどのように育成するか？

**最も重要だが、  
一番難しい課題**

# 職員情報リテラシー向上のイメージ



# 職員の情報リテラシー向上のための「もがき」

## ▶ DX研修（8月上旬。全職員対象）

- ・目的：自治体DX等を理解させ、デジタルを用いて業務の課題解決（＝住民福祉の向上）につなげる意識の醸成
- ・内容：
  - ① 川西町自治体DX（目指す姿を含む。）を理解すること。
  - ② 業務に生かせる最新テクノロジーを知ること。
  - ③ 業務の課題解決の手法の一つとして「デジタル化」があることを認識させること。
  - ④ 上記で学んだことを用いて、自己の業務課題を「デジタル化」を用いて解決できるか考察させること。

## ▶ 「カイゼンのすすめ」（行革の一環）

最新技術の紹介（RPA）、Office製品のショートカットキーの紹介等

## ▶ 管理職向け自治体DX研修（10／19実施予定）

## ▶ RPA説明会の実施（準備中）

## ▶ 川西町DX推進計画のブラッシュアップ = 県 斎藤デジタル技術専門推進員の協力